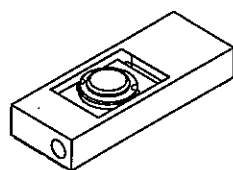
Panasonic®

取扱説明書

保管用

施工説明付き

住宅用照明器具(Architectural Light)

品番　LGB50150LE1

お客様へ　このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
ご使用前に「安全上のご注意」(1～2ページ)を必ずお読みください。
この取扱説明書は大切に保管してください。
施工には電気工事士の資格が必要です。必ず、販売店、工事店に依頼してください。

工事店様へ　この説明書は必ずお客様にお渡しください。

安全上のご注意　(必ずお守りください)

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を、次の図表示で説明しています。(下記は図記号の一例です。)

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。

警告

分解禁止

●**器具を改造したり、部品交換をしない**
火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

必ず守る

●**異常を感じた場合、速やかに電源を切る**
異常状態が収まったことを確認し､販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。

⚠ 注意

必ず守る

●**照明器具には寿命があります。設置して10年経つと､外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています点検・交換してください**
点検せずに長期間使い続けるとまれに火災・感電・落下などに至る場合があります。
◎1年に1回は別紙「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。

●**お手入れの際は、電源を切る**
通電状態で行うと感電の原因となることがあります。

●**本体の取り外しは販売店、工事店に依頼する**
本体の取り外しには資格が必要です。

禁止

●**温度の高くなるものを器具の真下に置かない**
火災の原因となることがあります。
◎器具の真下にストーブなどを置かないでください。

●**LEDを直視しない**
目の痛みの原因となることがあります。

●**器具配線やコネクタを過度な力で引っぱらない**
充電部露出による感電の原因となることがあります。

工事店様へ　施工の前によくお読みのうえ、正しく施工してください。
この説明書は必ずお客様にお渡しください。

施工説明

安全上のご注意　（必ずお守りください）

⚠ 警告

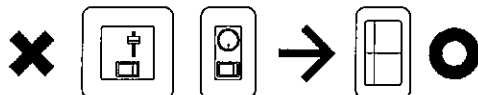
■取付面

禁止

●次のような場所には取り付けない
火災、感電、落下によるけがの
おそれがあります。
・ロックウールなどの柔らかい造営面や
珪酸カルシウム板の造営面
・補強のない薄い場所
（ベニヤ板や石こうボードなど）
◎壁面（縦・横向き）・天井面・据置取り付け
専用です。

■壁スイッチ

必ず守る

●調光機能が付いた壁スイッチの場合は、一般の入切用スイッチに交換する
火災のおそれがあります。

◎調光器の取り外しが必要です。

■その他

●器具の取り付けは、説明書に従い確実に行う
取り付けに不備があると、火災、感電、落下
によるけがのおそれがあります。

必ず守る

●交流100ボルトで使用する
過電圧を加えると過熱し、火災・感電の
おそれがあります。

●電源線は端子台の差込み穴の奥まで確実に差し込む
差し込みが不完全な場合、
火災・感電のおそれがあります。

●メタルラス張り、ワイヤラス張り、金属板張りの木造の造営材に器具を取り付ける場合は、器具の金属部と絶縁をとる
器具とメタルラス、ワイヤラス、金属板とが
電気的に接触しないように取り付けてください。
漏電した場合、火災のおそれがあります。

禁止

●アルカリ系洗剤は使用しない
感電のおそれがあります。

⚠ 注意

禁止

●温度の高くなるものの上に取り付けない
レンジ等温度の高くなるものの上に
器具を取り付けないでください。
火災の原因となることがあります。

●可動範囲を越えて無理に動かさない
器具破損の原因となることがあります。

●可動部の隙間に指を入れない
けがの原因となることがあります。

水ぬれ禁止

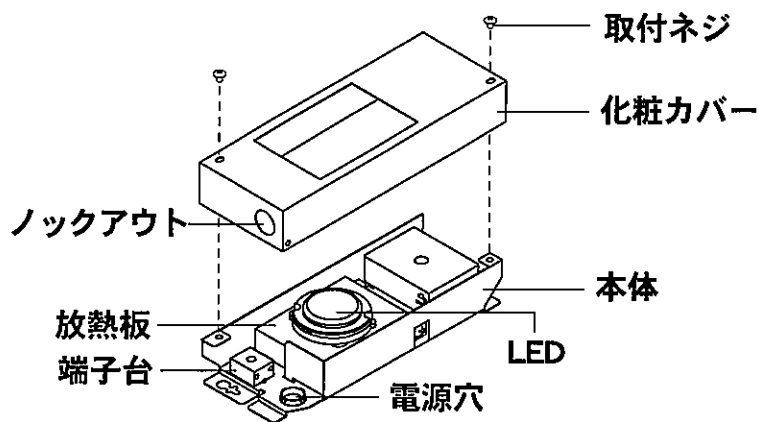
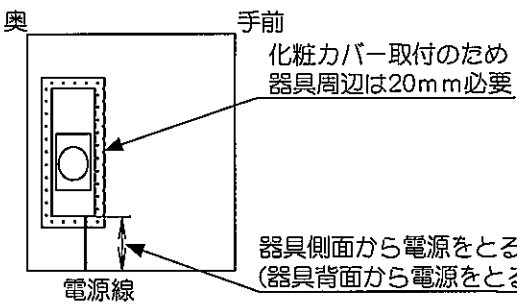
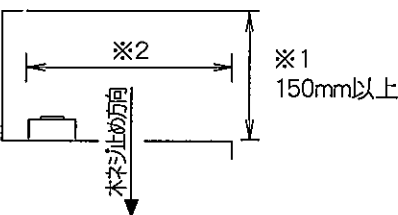
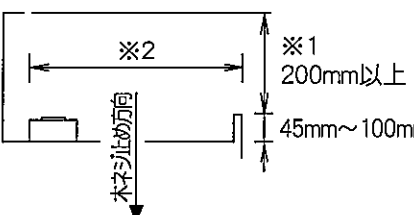
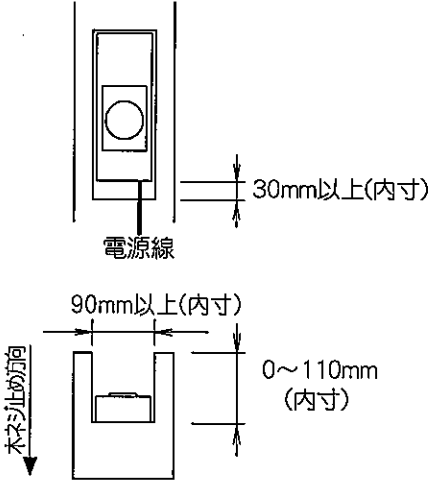
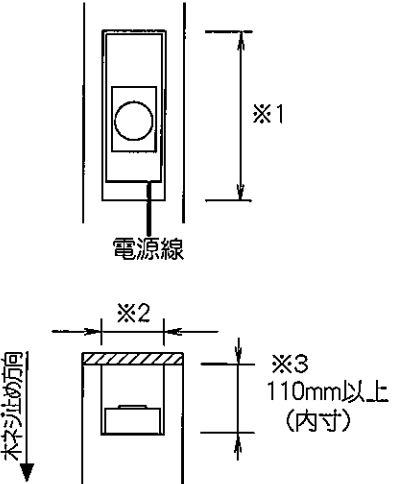
●浴室など湿気の多い場所や屋外で使用しない
火災、感電の原因となることがあります。
◎この器具は防湿、防雨型ではありません。

施工前のご確認事項

●壁スイッチを設けることをおすすめします。
壁スイッチを設けると、使用しない時やお手入れの際に電源を切ることができます。
●ほたるスイッチと接続する場合は、器具1台につき３個まででご使用ください。
（4個以上のほたるスイッチと接続すると、スイッチを切にしても器具が消灯しないことがあります）

各部のなまえ

●下図は一部省略簡略化したものです。

☞5ページ（取り付け前の準備）を参照しながら器具を下図の状態にし、施工を行ってください。

取り付ける場所により必要寸法及び使用木ネジが異なります。ご確認ください。

■棚下・家具下照明(天井付)

上から見た図

奥　手前

化粧カバー取付のため
器具周辺は20mm必要

器具側面から電源をとる場合、100mm以上
(器具背面から電源をとる場合は20mm以上)

電源

幕板なし	幕板あり
※2 木ネジ止め方向 ※1 150mm以上	※2 木ネジ止め方向 45mm〜100mm ※1 100mm以上

注) ※1が300mm未満の場合は、※2は380mm以下

使用する木ネジ

×2(同梱)
長さ38mmの木ネジを使用する

または

×2(同梱)
長さ13mmの木ネジを使用する

■バーチカル照明(壁付)

上から見た図　幕板あり

500mm以下

150mm以上

45mm〜100mm
(内寸)

木ネジ止め方向

化粧カバー取付のため､器具周辺は20mm必要

×2(同梱)
長さ38mmの木ネジを使用する

(次ページにつづく)

■棚上・家具上照明(据置)

上から見た図

奥　手前

化粧カバー取付のため
器具周辺は20mm必要

器具側面から電源をとる場合、100mm以上
(器具背面から電源をとる場合は20mm以上)

電源線

幕板なし	幕板あり
※2 ※1 150mm以上 木ネジ止め方向	※2 ※1 200mm以上 45mm～100mm 木ネジ止め方向

注) ※1が300mm未満の場合は、※2は500mm以下

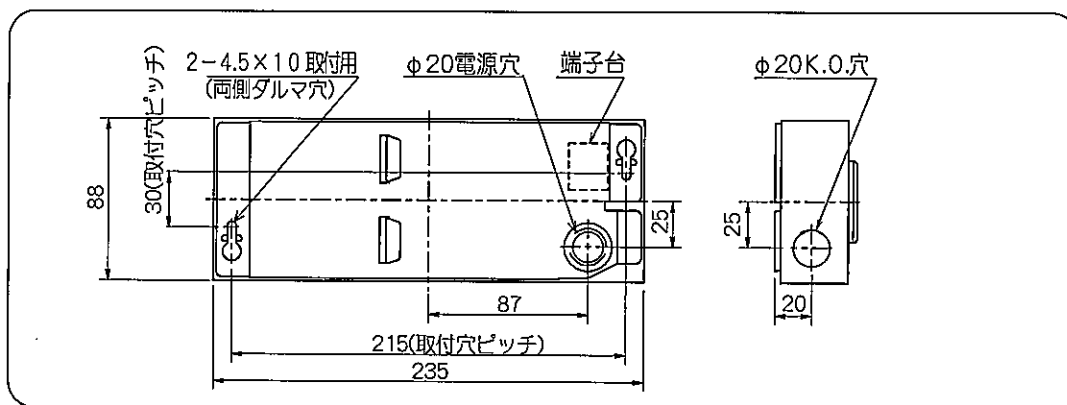
■家具内・梁上照明(据置)	■家具内・梁上照明(据置)上面にパネル付
上から見た図 30mm以上(内寸) 電源線 90mm以上(内寸) 0～110mm (内寸) 木ネジ止め方向	※1 電源線 ※2 ※3 110mm以上 (内寸) 木ネジ止め方向

注)※1～※3の寸法については
空間は、5,000cm^3 以上

使用する木ネジ

×2(同梱)

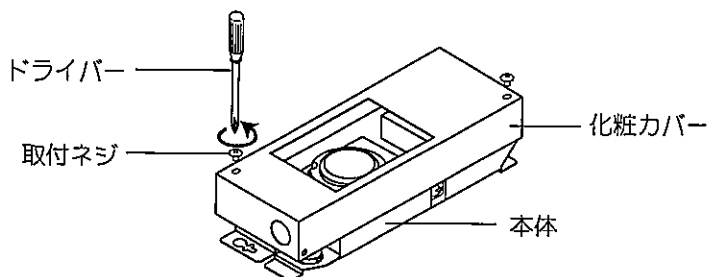
長さ13mmの木ネジを使用する

寸法図

器具の背面から電源を取る場合の取り付けかた

照明器具を取り付ける

安全のため、電源を切ってから行ってください

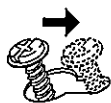
（取り付け前の準備）

1 化粧カバーを取り外す

（取り付け方）

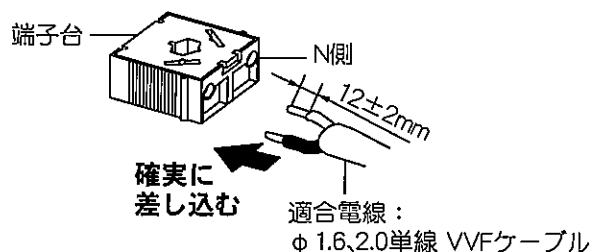
1 木ネジを仮止めする

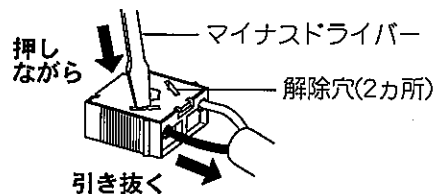
・付属の木ネジ(1本)をダルマ穴の取付穴ピッチで仮止めする。

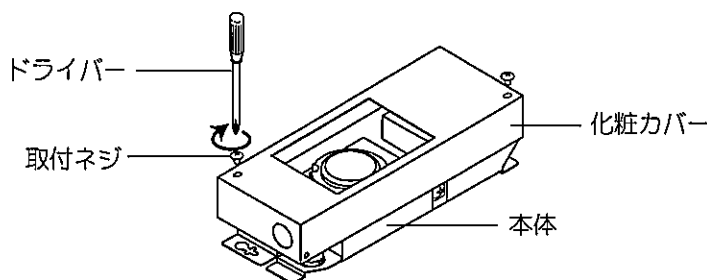
2 本体を取り付ける

①**1**で仮止めした木ネジに本体のダルマ穴を合わせてスライドさせる。

②他方のダルマ穴に木ネジを仮止めする。
③仮止めしている木ネジを確実に締め付ける。

3 端子台に電源線を接続する

・電源線を本体の電源穴から引き込み、
端子台の差込み穴の奥まで確実に差し込む。

電源線の取り外しについて

マイナスドライバー等で
解除穴を押しながら電源線を引き抜く。

4 化粧カバーを取り付ける

・取付ネジ(2本)で化粧カバーを本体に取り付ける。

器具の側面から電源を取る場合の取り付けかた

照明器具を取り付ける

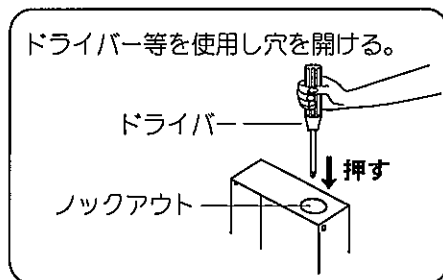
安全のため、電源を切ってから行ってください

(取り付け前の準備)

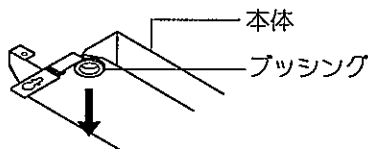
1 化粧カバーを取り外す

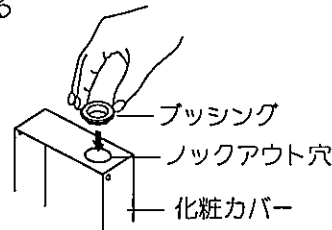
☞ 5ページ「器具の背面から電源を取る場合の取り付けかた」(取り付け前の準備) 1 参照

2 化粧カバー(側面)のノックアウトを開ける

(注意)

抜き片や穴の端部で手などを切らない様に気をつけてください。

3 ブッシングを付替える

①本体のブッシングを取り外す

②化粧カバーのノックアウト穴にブッシングを取り付ける

(注意)

抜き片や穴の端部で手などを切らない様に気をつけてください。

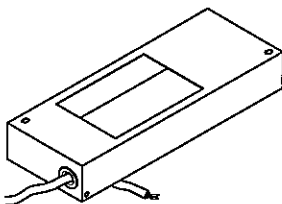
(取り付け方)

1 木ネジを仮止めする

☞ 5ページ「器具の背面から電源を取る場合の取り付けかた」(取り付け方) 1参照

2 本体を取り付ける

☞ 5ページ「器具の背面から電源を取る場合の取り付けかた」(取り付け方) 2 参照

3 化粧カバーに電源線を通す

4 端子台に電源線を接続する

☞ 5ページ「器具の背面から電源を取る場合の取り付けかた」(取り付け方) 3参照

5 化粧カバーを取り付ける

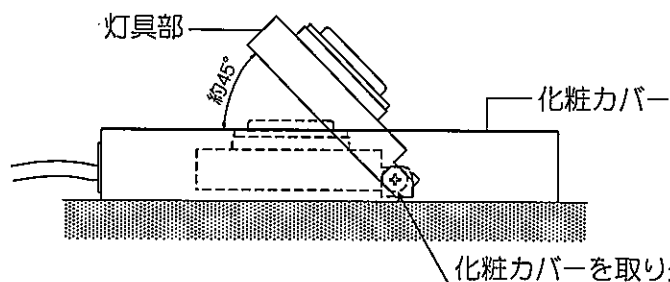
☞ 5ページ「器具の背面から電源を取る場合の取り付けかた」(取り付け方) 4参照

照射角度を調整する

電源を切って、灯具が冷めてから行ってください

・灯具部を動かして、照射範囲を調整できます。(約45°動かせます)
<例>器具を据置で取り付けた場合

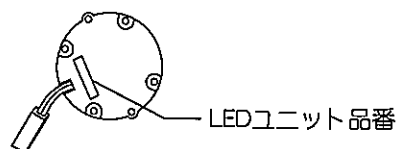
⚠注意

禁止

可動範囲を越えて無理に動かさない
器具破損の原因となることがあります。

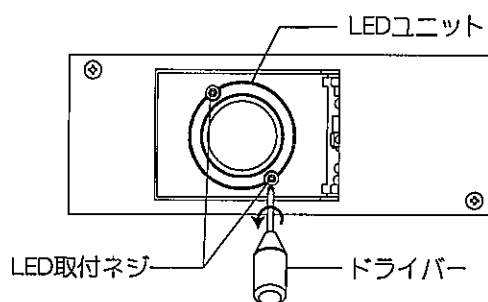
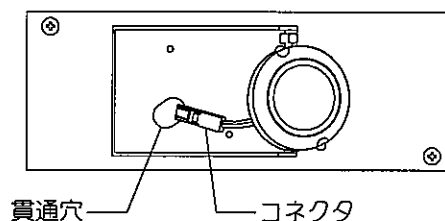
可動部の隙間に指を入れない
けがの原因となることがあります。

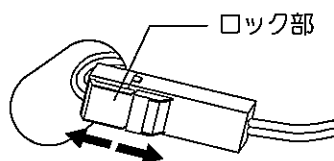
LEDユニットの交換について

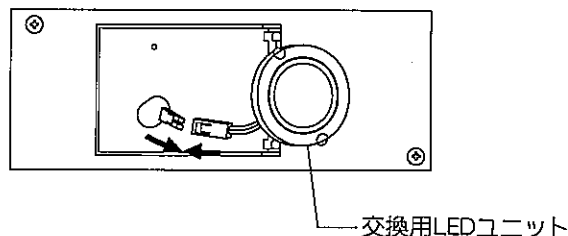
光源に不具合が発生しても、LEDユニットだけを交換できます

・LEDユニットの品番は、LEDユニットの背面に表示しています。
・交換用のLEDユニットは、販売店、工事店にご依頼ください。

交換方法 注)交換作業前に、必ず電源を切ってください。

1 LEDユニットを取り外す

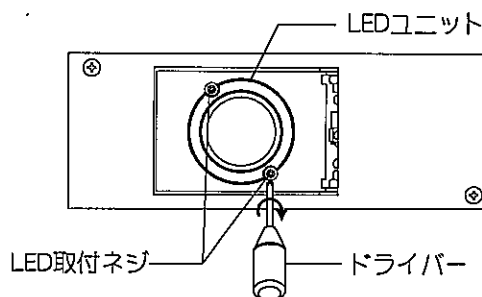
①プラスドライバーでLEDユニットを固定している
LED取付ネジ(2本)を取り外す。

②貫通穴からコネクタを引き出す。

2 コネクタの接続を解除する

・コネクタのロック部を押えながら接続を解除する。

3 交換用LEDユニットを接続する

・コネクタを"カチッ"と音がするまで差し込む。

4 交換用LEDユニットを取り付ける

・コネクタを貫通穴に戻して、交換用LEDユニットを
LED取付ネジ(2本)でゆるみがないように固定する。

⚠注意

禁止

器具配線やコネクタを過度な力で引っぱらない
充電部露出による感電の原因となることがあります。

お手入れについて
電源を切って、本体が冷めてから行ってください

●明るく安全に使用していただくため、
定期的（6カ月に1回程度）に清掃してください。
●汚れがひどい場合は、
石けん水に浸した布をよく絞ってふき取り、
乾いたやわらかい布で仕上げてください。

（確認）
シンナー、ベンジンなどの
揮発性のものでふいたり、
殺虫剤をかけたりしないでください。
変色、破損の原因となります。

ご使用に関するお知らせ
故障や異常ではありません

【器具自体の留意点】
●LEDにはバラツキがあるため、同一品番でも商品ごとに発光色、明るさが異なる場合があります。
●LEDが点灯しない場合は、電源を切り、販売店、工事店、またはお客様相談窓口にご相談ください。

【 周囲の影響 】
●器具の近くでは、ラジオやテレビなどの音響、映像機器に雑音が入ることがあります。
●器具のきわめて近くでは、リモコン機器(エアコンなど)のリモコンが動作しにくくなることがあります。

仕様

使用電圧	周波数	消費電力	入力電流
AC100V	50／60Hz共用	7.1W	0.13A

●ＬＥＤ照明器具の光源寿命(※)は、40,000時間です。（照明器具の寿命とは異なります。）
※光源の寿命は、点灯しなくなるまでの総点灯時間または、全光束が点灯初期の70%に下がるまでの
総点灯時間のいずれか短い時間を推定したものです。

保証とアフターサービス（よくお読みください）

修理・使いかた・お手入れ などは…
■まず、お買い上げの販売店へご相談ください
▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名
電　話（　　）ー
お買い上げ日　　年　　月　　日

●保証期間中は、お買い上げ日を特定いただき、お買い上げの販売店までご連絡ください。保証の規定に従って、販売店が修理させていただきます。

●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合は、ご要望により修理させていただきます。
＊修理料金は次の内容で構成されています。

技術料	診断・修理・調整・点検などの費用
部品代	部品および補助材料代
出張料	技術者を派遣する費用

修理を依頼されるときは…
まず電源を切って、お買い上げ日と以下の内容をご連絡ください。

●製　品　名　住宅用照明器具
●品　　番　○○○○○○
●故障の状況　できるだけ具体的に

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

ただし、安定器・LED電源については３年間です。
保証書が必要な場合は、当社代理店または当社営業所へお申し出ください。
※保証の例外　24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間の使用の場合、保証期間は半分となります。

補修用性能部品の保有期間　6年
＊当社はこの照明器具の補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。

パナソニック株式会社　インテリア照明ビジネスユニット
〒571-8686 大阪府門真市門真1048

LGB50150－T3A1

N0611－011111